

卒業後アンケートまとめ（令和6年度）

令和7年2月3日
キャリアセンター

調査の概要

- 【対象】** ①卒業1年を迎える2024年3月卒業生の内、就職した者（419名）
②上記卒業生の就職先（343社・団体）
- 【方法】** ①卒業生に依頼文書と調査票を郵送し、回答に関してはWEBアンケートにて受付
②企業からの回答は上記に加え、FAXでも受付
- 【期間】** 12月中旬に送付し、1月下旬までの回収期間を設ける

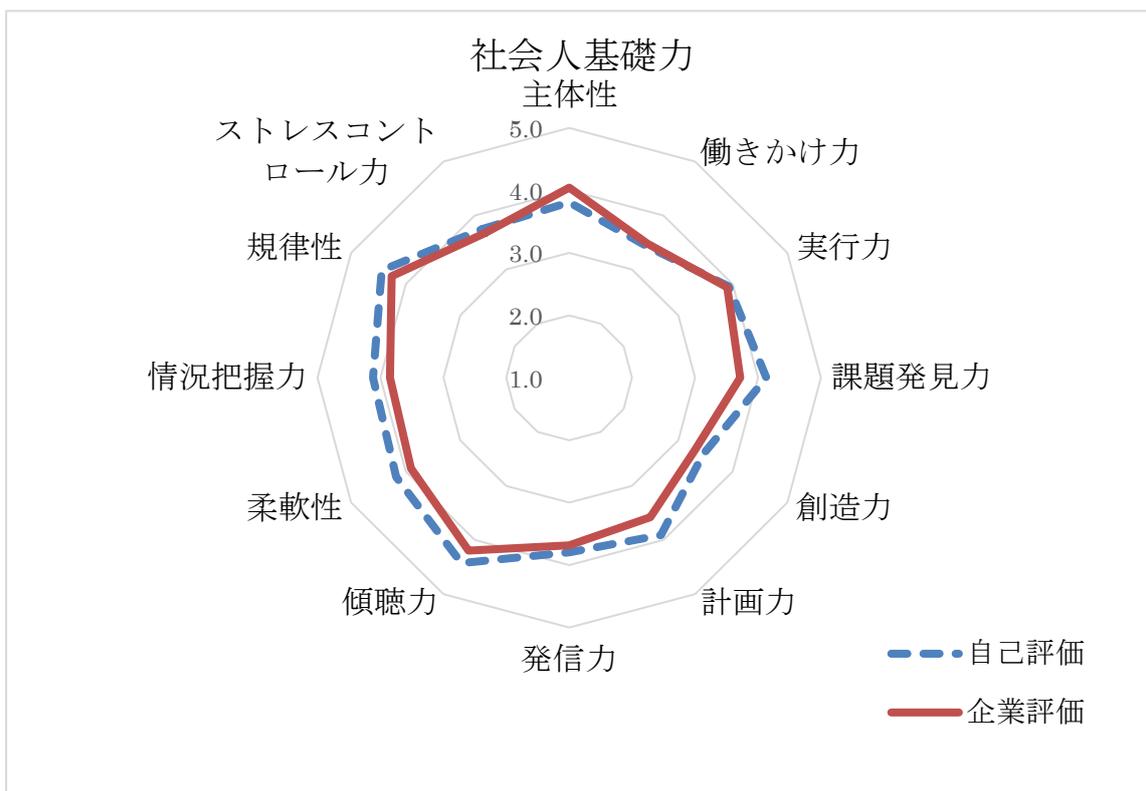
回答状況

企業向けアンケート	送付先企業数	343
	内回答企業数	164
卒業生向けアンケート	対象学生数	419
	内回答学生数	69
	在職状況	
	在職中	65
	在学中	0
	就業していない	3
	その他	0

本学卒業生が卒業後身につけていると思われる社会人基礎力

企業向けアンケートと、卒業生向けアンケートで、社会人基礎力を身につけているかどうかを聞いた。企業は、規律性、主体性、実行力、柔軟性について評価している一方、働きかけ力、創造力、計画力については、不十分と評価している。

企業の評価と卒業生の自己評価については、おおむね企業評価より自己評価がやや上回るものの、全体としては、よく一致している。



5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらともいえない 2. あまりそう思わない 1. 全くそう思わない

	企業評価	自己評価	
主体性	4.0	3.8	0.24
働きかけ力	3.5	3.4	0.04
実行力	3.9	3.9	-0.03
課題発見力	3.7	4.1	-0.42
創造力	3.3	3.5	-0.15
計画力	3.6	3.9	-0.33
発信力	3.7	3.8	-0.11
傾聴力	4.2	4.4	-0.23
柔軟性	3.9	4.2	-0.27
状況把握力	3.8	4.1	-0.27
規律性	4.3	4.4	-0.18
ストレスコントロール力	3.7	3.8	-0.07

※点数は全回答の平均点

企業：本学が教育上重点を置くものの中で重要と思われる項目（複数回答）

最も多くの企業が重要と指摘した資質は、「社会・集団の中で主体的・能動的に様々な課題・問題に取り組める」であり、それに次いで「幅広い視野を持ち、自らと異なる価値観を持つ人々と協働できる」「相手の立場に配慮しながら、適切に自らの意見を説明できる」であったが、他の項目にもまんべんなく重要との回答があった。本学の教育方針が企業にも支持されていることの証左であろう。

全般の傾向としては、個人に依拠する知識や技能よりも、組織・社会の中で力量を発揮してくれる人材をより重視していると思われる。

柔軟な思考力を養い、専門的な知識や技能を得る	83
自身の持つ知識や技能をもとに、直面する問題を克服できる	82
情報の収集や分析を行い、問題の解決を図ることができる	82
幅広い視野を持ち、自らと異なる価値観を持つ人々と協働できる	119
相手の立場に配慮しながら、適切に自らの意見を説明できる	118
社会・集団の中で主体的・能動的に様々な課題・問題に取り組める	125
社会のルールを順守して行動できる	110

企業：大学側に能力育成に関する要望（自由記述）

本学が教育上重点を置くもの以外に自由記述での回答を求めたが、あらためて「コミュニケーション能力」に言及する意見のほか、「ビジネスマナー」に関する要望が数件見られた。なお、回答の中に「前項に掲げる内容で十分」との記述があったことを特記したい。

コミュニケーション能力	4
実行力・計画力	0
PCスキル・ITスキル	0
課題解決	1
チャレンジ体験	0
協調性・規律性	2
主体性・積極性	1
文章能力（読み書き）	0
傾聴力	1
学外での経験	0
社会で働く機会	0
ビジネスマナー	3
ストレスコントロール	1
自己分析	0
社会状況の把握	0
働くことへの理解	2
情報収集と発信力	0
素直さ	0
想像力	0
専門能力	0
進路アドバイス	0
人間力	0
その他	0

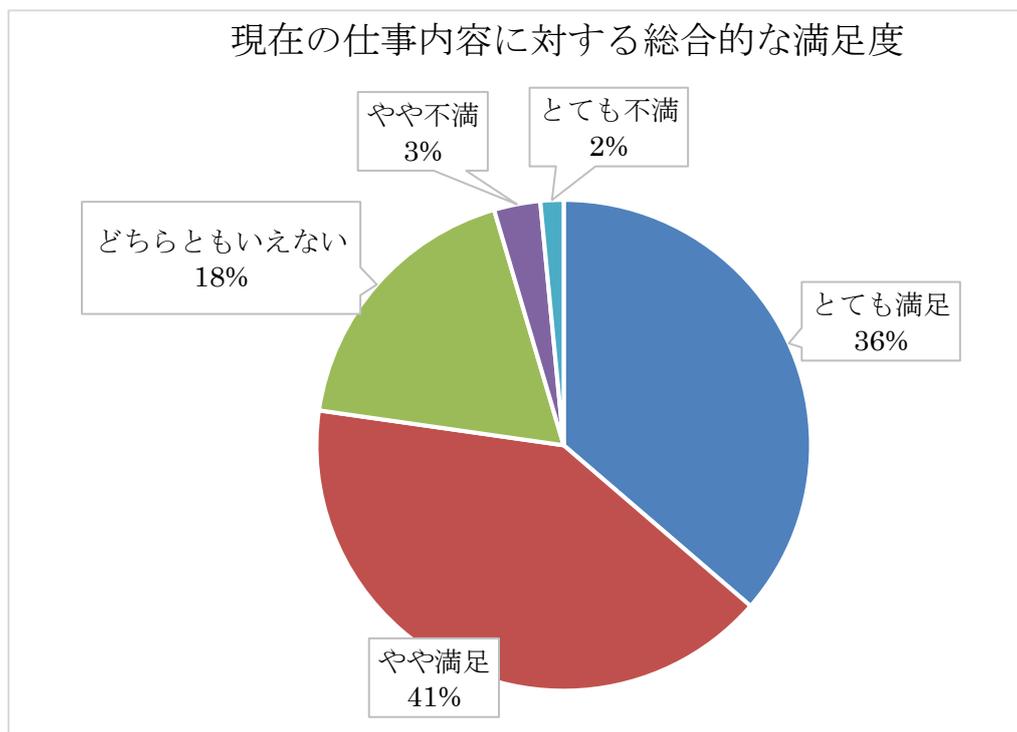
企業：その他意見（自由記述）

全体として、卒業生を高く評価いただいている意見が目立った。主に本学卒業生の素直さ、まじめさが評価されている。

社会人になると責任が生じることを踏まえ、あらかじめ社会の厳しさについて言及する指導を行ってほしいとの意見があった。

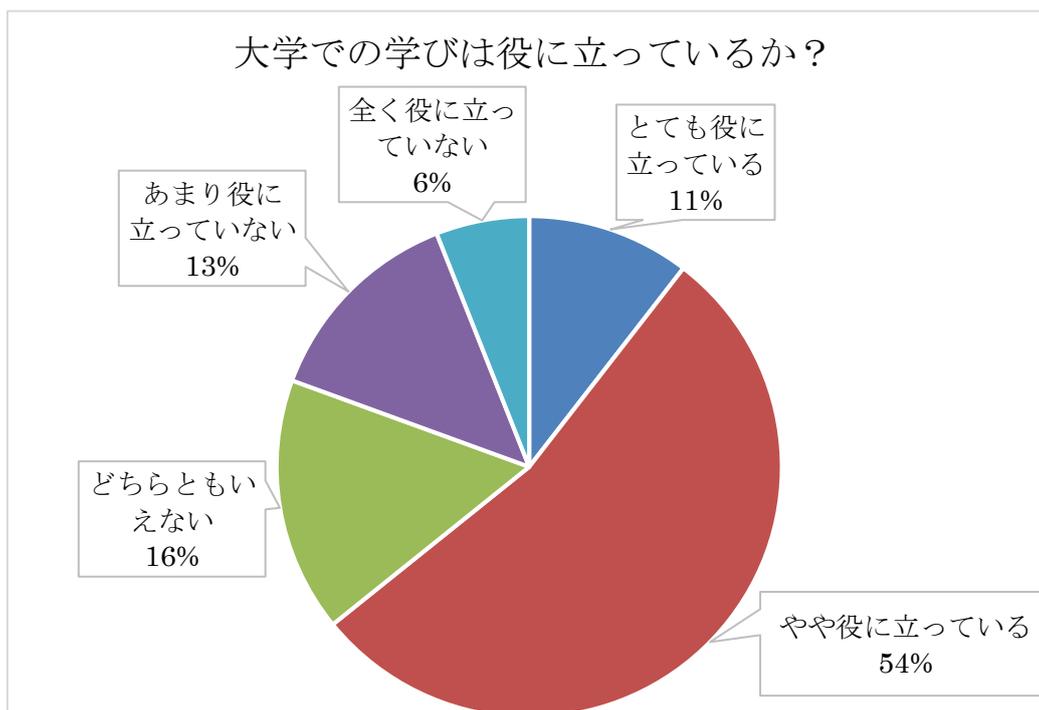
卒業生：現在の仕事内容に対する満足度

とても満足、やや満足をあわせて77%であった。



卒業生：大学での学びは役に立っているか

とても役に立っている、やや役に立っている、をあわせて65%であった、役に立っていないとの回答も19%あった。



卒業生：学業を通じて身に着けた能力

6つのディプロマポリシーをもとに「学生生活を通じて以下の能力や知識を身に着けることができたか」を聞いた。

「社会のルールを順守して行動できる」の自己評価が高い一方で、「主体的・能動的に課題や問題に取り組める」「知識・技能を元に問題を克服できる」の自己評価が低い。

聞いた項目

- ① 柔軟な思考力を養い、専門的な知識や技能を得る
- ② 上記の知識や技能をもとに、自らが直面する問題を克服できる
- ③ 的確な思考力や判断力をもとに情報の収集や分析を行い、問題の解決を図れる
- ④ 幅広い視野を持ち、自らと異なる多様な属性、価値観を持つ人々と協働し、互いを尊重しながら行動できる
- ⑤ 相手の立場、気持ち、意見に配慮しながら、時と場合に応じて適切に自らの意見を明確に説明できる
- ⑥ 社会・集団の中で主体的・能動的に様々な課題・問題に取り組める
- ⑦ 自らの良心に則り善悪を見極めた上で、社会のルールを順守して行動できる

